

# 歴史的資料、長く後世へ

## 「記念館」7月に完成予定

かつて母校創立70周年の際に学校関係の歴史資料の収集が行われ、多くの同窓生から寄せられた資料が元学館の一室に展示されていた。

80周年の際に学館が取り壊されたのに伴い、収集資料は、学校内に一時保管をお願いし、空き教室を利用して展示するように計画され募金活動も行われてきたが、平成22年度から学級増となりむしろ教室が不足する事態となつてしまつた。このため、学校と協議し同窓会事務局横の車路(室名は多目的ホール)部分を間仕切りして歴史資料室として整備することとなった。

平成21年度第3回常任幹事会でこのことが決定し、22年6月14日に第1回の資料室建

設計指導担当)で構成。その後桐生副会長の体調不調により、竹若副会長に委員長を交代した。

委員は桐生元治副会長を委員長に竹若幸二副会長(渉外担当)、副島邦弘(高16・学芸員・展示担当)八尋信明(高23・収蔵資料データ整理ソフト作成担当)長谷川保宏(高29・

実際の設計監理は、匠建築研究所の松島豊章氏(高22)に依頼したが、松島・長谷川両氏は母校講堂・武道場等の設計をはじめ、県立学校など公共建築の設計経験が豊富。今回の依頼には母校のことなので、とボランティア精神を

發揮していただいた。また、八尋委員は同窓会名簿システムを作り上げた方で資料のデータベース化に取り組んでいただいている。資料は原田啓子氏(高24)にお願いして、一点ずつ写真撮影し登録作業が進んでいる。

数回委員会を開催し、今年1月に最終設計ができ、22年度第2回常任幹事会に施設の概要を説明し、建設業の同窓

## 復興支援、がんばるぞ筑高

### 東日本大震災 義援金協力をお願い

筑紫丘高校同窓生の皆さまへ  
同窓会では、今回の東日本大震災で被災された方々に対し、お見舞いと復興への一助として次の通り義援金を受け付けています。

(義援金は一括して西日本新聞民生事業団を通してお届けします)

- ①募金の方法  
募金箱 同窓会事務局に設置  
郵便振替 口座番号 01760-5-80490  
加入者名 筑紫丘高校同窓会募金委員会

※通信欄に「東日本大震災義援金」及び「卒業回数」を記入してください。

※振り込み手数料はご負担ください。ただし、同窓会事務局に手数料不要の振り込み用紙がありますので、連絡いただければお送り致します。

- ②受付期間 6月15日まで
- ③平成23年度同窓会総会(6月4日)当日も総会実行委員会が募金を呼びかけます。
- ④問い合わせ  
同窓会事務局 電話 092(561)0662  
E-Mail oka-dousoukai@hiz.bbiq.jp

## 6年ぶり、世代を超えて

### 北九州支部の集い、思い出話に花

「北九州支部の集い」は昨年11月13日(土)の夕、小倉リーセントホテル(岩本支配人も高21)で6年ぶりに開催しました。

中15回から現役大学生まで、世代を超えた多彩な参加者で、美味しいお酒と食事ですが、学生時代の思い出のほか、いろいろな楽しい会話が盛り上がり、あつという間の2時間でした。同窓会本部からも田中会長、加藤事務局長、事務局の内田さんにも来賓として出席していただきました。本当に筑紫丘の絆の強さ、

素晴らしさを感じることで、福岡へ新幹線なら二十分、バスでも約一時間しか要しないため、同期会や総会へ参加する方が多く、出席者が少なくなっていた上、前支部長の宮本平八氏(高5)が体調を崩されたこともあり、永い間開催できずにいました。しかし、高2の中村耕作氏の声かけで委員の皆さんが集集し、再会へ向け、新体制で委員会がスタートしました。

現在、北九州市とその周辺



6年ぶりに開かれた「北九州支部の集い」参加者

(中間市・遠賀郡・京築地区・下関市など)で確認できた同窓生は約250人です。

本年も11月開催に向けて、より多くの皆さんの参加で更に楽しい集いになりたいと委員の皆さんも張り切っています。是非、お誘い合わせの上、参加いただければと存じます。最後に新委員を紹介しておきます。

- 支部長：日向祥剛(高20)
- 委員：中村耕作(高2)・野口喜隆(高3)・定行良子(高7)・井上正(高8)・吉富桂子(高8)・岡部隆(高12)・幸田照子(高19)・縄田正芳(高20)・豊島邦昭(高20)事務局：光原俊彦(高16) (高16 光原俊彦)

## 剣士の青春は永遠に

### 剣道部OB会、年齢問わぬ絆

剣道部OB会では、日常的な指導稽古の他、春夏秋冬に応じた定期的な現役・OB合同の稽古会並びに交流会を行っている。

春の新人部員歓迎会。真夏高校剣児の華「玉竜旗争奪戦」を鼓舞する大激励会。秋には三年間の厳しい部活動に耐え抜いた最上級生を讃える追いつけ会。そして正月二日の初稽古並びにOBチャンピオン戦等々の四回の年間行事を保

護者も一体で行っている。どの交流会も老若男女を問わず、いざれ劣らぬ面キチ連(剣道愛好者)が一堂に会し現役部員達と丁々発止と剣を交じえながら、只管後輩殿の剣技の上達、心身の鍛練を願い汗を流し合う。

剣道の魅力は、七十年代、八十代の高齢を迎えても、体力や俊敏さに優る高校生と対峙し合っても、永年の稽古の賜物か一身に付いた多彩な技の



毎年行われている新入部員歓迎会

生に入札参加の呼びかけを行ったところ、4社が名乗りを上げ、3月16日に入札を実施した。この結果、林孝行氏(高10・白石建設)が落札し、7月15日の完成に向けて建設が進められている。

この後、展示ケースなどの整備を行い、今秋の開館に向けて副島氏によって具体的に

展示して行くことになる。昭和12年に筑紫中学創立10周年を記念して、郷土室や図書室を備えた木造二階建の「記念館」が正門を入った右側に建てられていた。昭和27年に現在地に移転した際、記念館は正門右の丘上に平屋となって移築されていたが、図書館建設のため昭和

39年に取り壊された。現在の国旗等の掲揚台から正門付近である。資料整備の過程で、当時の「記念館」銘盤が保存されていることが判明したので、これを掲げたい旨、前述の第2回常任幹事会で提案し、資料室の名称は「記念館」とすることに決定した。(事務局)

## 明るい校風は若手にお任せ

### アンダー34の会

平成23年2月2日、西鉄イン福岡13階の展望レストランにおいて、「アンダー34の会」が盛大に開催されました。

当会は、80周年定期総会以降、毎年恒例で開催される若手同窓生を繋ぐ会です。

筆者も、第1回から参加させていただいておりますが、毎年、非常に熱のある会となっております。

本年も、定期総会の実行委員である、高校34回を幹事として当初、全員着席・個人に料理をサーブする形式が計画されていましたが、前日までに参加希望者が殺到したことから、急ぎよ、立食・ビュッフェスタイルへの変更を余儀なくされたといううれしいアクシデントもあつたそうです。

当日は、新年から続く寒風吹きすさぶ、雪も舞い散るあじきのお天気となりました。しかも、3連休の中という条件でありながら、定刻の午

後6時30分には34回生の待つ会場に多くの同窓生が集合しました。岩崎実行委員長の挨拶を皮切りに、和やかなムードで会は始まり、中盤には、就職活動中の若い同窓生らによる、面接試験さながらの自己アピールや、大運動会ブロック長・応援団長経験者らによる即興スピーチが行われるなど笑いの絶えない会合となりました。ここ数年の若手同窓生の勢いは非常に喜ばしいものがあります。今後このアンダー

の会を継続し、同窓会組織がより強固なものになることを心より願ってやみません。後日談になりますが、筆者が当日、名刺交換させていただいた先輩からメールをいただきました。「同窓会があのようになかなか雰囲気で開催されているとは知りませんでした」とのことでした。これからも、筑紫丘同窓会は筑紫丘の校風にふさわしく笑顔溢れる会合となることを祈念いたします。(高49 前川健太)

70代の老壮組は、口が裂けても「老いた」などと口走る訳には行かないお達者ぶりだ。交流会の中でも年頭行事のOBチャンピオン戦は、早乙女組、若武者組、古武士組と三部門に分かれて覇を競うが優勝賞品「ペアー組温泉旅行券」をめざし、先輩後輩の礼節を超越した壮烈な争奪戦が繰り広げられ圧巻だ。若者の成長は早い。幼さをまもって入部した後輩殿も、試験中の部活休止期間以外は連日の猛稽古に耐え……一年も経つとめきめきと腕を上げる。打たれつ放しで先輩面をするのはがゆい。という次第で、実は六年前から毎月第一、第三、第五日曜日の夕刻五時半から、OBだけの稽古を積んでいる。いざれ後輩達が果立って、並みいるOB猛者達を手玉にとつてくれる日の到来を待ちわびている次第です。会長 古賀 勝(高8)